

# 新発田市租税教育推進協議会長賞

## 税金は明るい未来への鍵

新発田市立 七葉中学校 三年 倉田実夢さん

私はよく将来について不安を抱くことが多い。そんな中私たちにとって1番近い将来は受験だが、学校に通うのも、私たちが安全に暮らせるのも必ず税金というものが関わってくる。税金とは買い物をしたときなどにかかる消費税などのようなものだ。12歳の頃は、年が経つにつれて消費税が上がっていくのにも何かと不満で、知識もなかった私だから消費税がない未来を望んでいた。しかし実際に身の回りにある当たり前前に目を向けてみると税金は現代の私たちにとって必要不可欠なことが分かってきた。

まず私は警察官や消防士さんなどの公安職について考えてみた。ニュースなどでよく火事が起こったら消防士さんが消火活動を行っていることや、警察官が電車で不審者が出たときに乗客さんを安全なところに誘導しているなどをよく見かける。このようにして私たちの安全や命が守られているが、実は公安職の方々たちは全て税金によって動かされている。私たちは何か事件が起きたら当たり前前にそばにいてくれる存在だが、もしいかなかったら。考えてみると私は毎日恐怖で生きていけないだろう。また全国民の明るい未来も保証されない。

次に学校のことについて考えてみた。今の法律として私たちは9年間の義務教育が定められている。しかし小中学校を各家庭のみで負担するとなるとかなりお金がかかってくる。しかし私たちは税金によってお金持ちでない家庭でも通えるような社会となっている。税金がなかったら、日本人の半分以上の子供達は学校に通えなくなったり、教科書もお金を払わないといけないなど今の日本では考えられないようなことがたくさん起こってしまう。このようなことを知ることによって私は税金がどれだけ大切か身にしみて感じた。税金は払うのが私たち国民の義務だが、お金がたくさんかかってくるので最初の私のようにただ不満を抱く人がいると思う。だから、まずは税金は何のためにあるか知り、身近ではどんなことに使われているか知ることによって理解が深まっていくと思う。また、どんなに国民が税金を払ったとしても解決しない課題はたくさんある。その日本の課題にも目をむけ、税金の使い方についても自分なりの考えを持って生きていきたい。